

人が輝く共生のまちを目指して

平成24年度の予算概要

平成24年度市政執行方針（要旨）

江別市長 三好 昇

東日本大震災の発生から1年が経過しました。

私は、このたびの大震災で、かつて当たり前であった人と人との絆、支えあう地域社会の重要性、大切さを認識し、今改めて安全・安心な街づくり、災害に強い街づくりを進めることとしました。

政府は昨年、震災対応を最優先としつつ、地方一般財源の前年度並みの確保方針を示し、増嵩する社会保障費^{そくさう}に対し、社会保障と税の一体改革を打ち出しましたが、取り巻く環境の変化などに、現在の社会システムが対応できていないことから、今後は更なる地方負担の増加も懸念されます

江別市は平成17年頃をピークに人口が減少し、今後の街づくりは、あらゆる政策を、少子高齢、人口減少という状況下で進めなければなりません。こうした状況の中、まちの活力を維持し、持続可能で強い経済力を持った街づくりを行うためには、市民に安全安心な生活を提供することを基本に、地元の資源を活用し、雇用を増やす経済の振興が不可欠です。

幸いにも、昨年12月に指定を受けました「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区構想」は、市が持つポテンシャルを大いに発揮できるチャンスであり、これを契機にして市内の企業・大学・研究機関などが更に連携し、地域経済を活性化して都市間競争に勝ち抜く必要があります。

是非ともこのチャンスを活かし、江別の経済発展につなげてまいりたいと考えております。

新年度予算は、第5次総合計画後期基本計画の政策目標や方向性を踏まえ、さらに私のまちづくりの基本姿勢「市民協働の推進」「人口減少への対応」「環境への取組」「安全・安心なまちづくり」に基づき、事業の緊急度や優先度、本格実施をしたパブリックコメントを踏まえて編成を行いました。

不安定で不確実性を増す時代だからこそ、課題を先送りすることなく、将来を見据えて果敢に立ち向かっていく必要があります。

常に緊急度や優先度などを検討し、市民と対話しながら、時には苦渋の判断を持って対処しなければならないことがあるものと考えています。

お互いが優しさや豊かさを実感でき、「誰もが元気で活力あふれる街えべつ」を目指し、市民、自治会や市民活動団体、大学・企業などと手を携えて、確かな明日に向けて相互に支え合いながら、共に歩んでまいりたいと考えております。



【基本理念】

- 元気で安心できる、人にやさしい街
- 子どもを産み育てる環境が整う教育・文化あふれる街
- 地域の特性を活かした産業を生み出す街
- 環境に配慮したみどりあふれる街
- 立ち止まらない市政改革のもと、市民が参加する市民協働の街

予算

編成に

あたって、基本理念に基づき、政策の推進や総合計画の施策・事業の継続性にも配慮しながら、人口



減少への対応、企業立地、子育て支援、環境、安全安心といった重点政策課題を中心に事業の新設・拡大の検討を行ったほか、継続事業についても緊急度や優先度などを見極めながら予算編成を行いました。

また、平成23年12月1日から平成24年1月にかけて、当初予算（案）

【詳細】

財政課 ☎ 381-1010
政策調整課 ☎ 381-1033

に対する市民意見を募集したところ、4人の方から21件のご意見をいただきました。いただいたご意見とそれについて市の考え方については、市ホームページで見ることができま

市役所では、4月から始まる翌年3月までの1年間のお金の使い方の予定を立てるのよ。その額のことを「予算」と呼ぶの。

「予算」とは、この1年間で、どのくらい収入が見込めて、どんな事業にいくら使うのかという計画を立てたものことよ。

ちなみに、収入と支出のことをそれぞれ歳入と歳出と呼ぶの。歳出を見ることで、市が何に取り組むのかがわかるのよ。



よく聞く言葉だけど、「予算」っていったいなんのことなの？



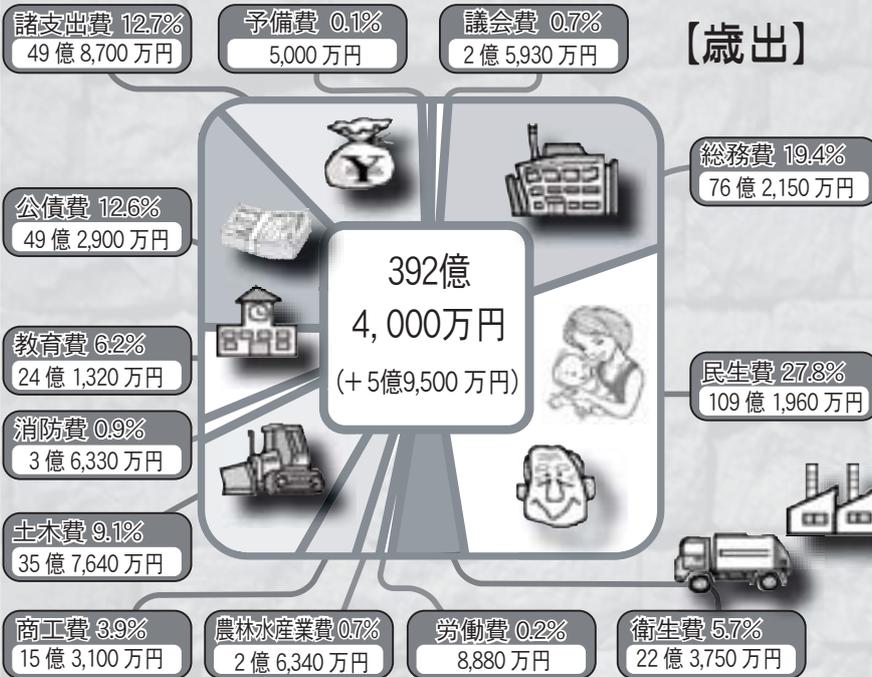


「会計」とはいわばお財布のことだよ。市には、一般会計・特別会計・企業会計という3種類のお財布（会計）があって、それぞれ一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算と呼ばれているよ。

「会計」は
なんのこと？



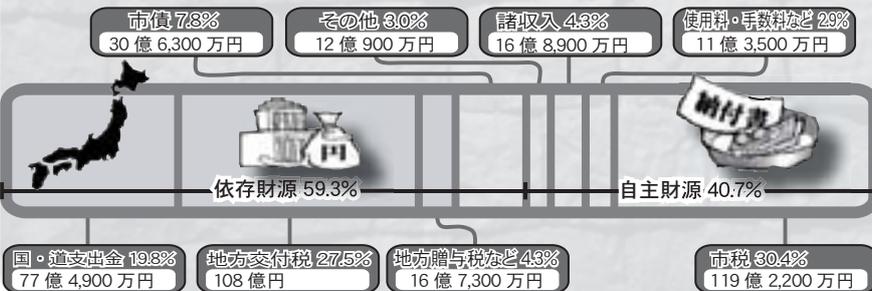
一般会計予算 392億4,000万円 (+5億9,500万円) () 前年比較



一般 会計とは、教育や福祉、道路、公園の整備など、基本的な行政サービスを行うための会計のことです。主な収入は、市税（市民税や固定資産税など）や地方交付税などです。

今年 度の一般会計予算は、江別の顔づくり事業の進展や新栄団地建替事業などにより、昨年より5億9,500万円増加しています。大きな割合を占めているのは民生費で、高齢化に伴う医療費の支出や、子育て支援にかかる支出などにより、全体の4分の1を占めています。

【歳入】



特別会計予算 226億9,150万円 (+18億4,400万円)

特別会計とは、特定の目的のための会計で、国民健康保険税などの特定の収入があり、一般会計予算から切り離してその収入・支出を経理する会計のことです。江別市には、4つの特別会計があります。

- ◆国民健康保険特別会計 ◆介護保険特別会計
132億6,900万円 75億8,800万円
(+11億4,700万円) (+4億1,200万円)
- ◆後期高齢者医療特別会計 ◆基本財産基金運用特別会計
14億400万円 4億3,050万円
(+9,900万円) (+1億8,600万円)

企業会計予算 167億1,599万円 (+11億2,426万円)

江別市では、水道事業、下水道事業および病院事業の3つの公営企業会計があります。民間企業と同じように事業で収益をあげて運営しています。

- ◆水道事業会計
32億9,767万9千円
(+2億1,547万4千円)
- ◆下水道事業会計
52億5,236万6千円
(+4億5,243万9千円)
- ◆病院事業会計
81億6,594万3千円
(+4億5,634万8千円)